

■ 準備会活動内容のご紹介① <普及・啓発（ホームページ）>

- 準備会では専用のHPを開設し、情報通信環境整備に関するイベント開催情報や資料公開、質問対応などを実施しています。
- 入会いただくと、会員専用ページから、これまでに共有された会員限定の資料・動画などが閲覧・ダウンロード可能です。

主なコンテンツのご紹介

① 準備会について

準備会の趣旨・目的や活動内容等についてご紹介しています。

② 会員一覧

サポート会員の紹介及び、各会員様の企業HP等へのリンクを掲載しています。（民間企業を中心に150社が入会（R7.5.8時点））

③ 事例紹介

ICTを活用した情報通信環境の整備を通して、農業をはじめとする様々な課題の解決に取り組む事例をWEB記事及び動画でご紹介しています。（全14地区）

④ 公開資料

これまでに開催されたオンラインセミナーなどのイベントで用いた発表資料や動画、情報通信分野の技術情報等を公開しています。

⑤ イベントのご案内

セミナー、研修会、講習会等の開催予定情報を掲載しています。

⑥ よくあるご質問

準備会活動に関する質問について1問1答形式で回答しています。

⑦ 関連法令・施策等

情報通信環境整備に活用できる支援策等のリンクを掲載しています。

⑧ 用語集

情報通信環境整備で用いられる専門用語等を解説しています。（用語例：BWA、FTTH、クラウドサービス、ダークファイバ）等）

⑨ 技術・製品一覧

農業農村における情報通信環境整備で活用できる技術・製品等をご紹介します。

⑩ 会員専用ページ

会員限定で開催された研修会、講習会で用いた発表資料や動画、個別地区支援に係る参考資料等を格納しています。

The screenshot displays the homepage of the Wataras (Wataras) website. The top navigation bar includes 'トップページ' (Home), '準備会について' (About the Preparatory Committee), '会員一覧' (Member List), '事例紹介' (Case Studies), '公開資料' (Public Documents), 'よくあるご質問' (FAQ), '関連法令・施策等' (Related Laws and Policies), '用語集' (Glossary), '技術・製品情報' (Technology and Product Information), and '会員専用ページ' (Member-Only Page). The main content area features a banner for 'ICTで農業が進む、農村が変わる。' (ICT advances agriculture, rural areas change). Below the banner, there are sections for '準備会からのお知らせ' (Announcements from the Preparatory Committee) and 'イベントのお知らせ' (Event Announcements). A sidebar on the right contains a 'トップページ' (Home) button and a QR code for the '農業農村情報通信環境整備準備会HP' (Agriculture and Rural Information and Communication Environment Improvement Preparatory Committee HP). The URL is provided as <https://nn-tsushin.jp/>.

■ 準備会活動内容のご紹介② <普及・啓発（セミナー、研修会、講習会）>

- 情報通信環境整備の必要性や先進事例の紹介などを行うオンラインセミナーを開催しています。オンラインセミナーは準備会非会員も参加いただけます。
- 入会いただくと、情報通信の基礎知識の習得等を目的とするユーザー会員向けのオンライン研修会、個別地区支援のノウハウの習得・向上を目的とするサポート会員向けのオンライン講習会にご参加いただけます。

(1) オンラインセミナー

農業農村における情報通信環境整備に関心のある自治体や土地改良区等を対象に、情報通信環境整備の必要性や支援制度、取組の参考となる技術や優良事例の紹介などをオンライン形式で行っています。いずれも準備会非会員でも参加可能です。

令和6年度オンラインセミナー・特別セミナー開催実績

テーマ	開催日	参加者数
地域で取組むICT化による収益性向上	2024/10/4	98
スマート農業技術活用促進法について	2024/10/25	106
国営事業と情報通信環境整備事業の組み合わせにより、持続可能な農業・地域社会の礎を築く	2024/12/6	54
地域で情報通信環境整備を進めるために知っておきたい通信・伝搬の基礎知識	2025/2/12	86

(2) オンライン研修会 ※会員限定

情報通信環境整備に係る基礎知識の習得を目的として、主にユーザー会員（地方自治体、土地改良区、JA等）を対象に、研修会をオンライン形式で行っています。

令和6年度オンライン研修会開催実績

テーマ	開催日	参加者数
地域社会DXとスマート農業	2024/6/26	100
農業のICTソリューション最前線！～サポート会員15社による製品紹介～	2025/2/14	75

■ 研修会・講習会合同企画：ユーザー会員・サポート会員 合同研修会（開催日：2024/12/17、参加者数：66名）

情報通信環境整備に先進的に取り組まれている自治体、土地改良区、JA、サポート会員に協力いただき、農村地域でICT化に取り組んだからこそ見える情報通信インフラの重要性や、「計画づくり、財源、体制、進め方」などの課題にどのように取り組んできたのか、サポート会員の方々からユーザー会員の現状の悩みを理解する場となることを目指し、ユーザー会員とサポート会員の「交流」の場として合同研修会を開催しました。



(3) オンライン講習会 ※会員限定

サポート会員の資質や技術の向上、個別地区支援のノウハウの習得を目的として主にサポート会員（民間事業者、都道府県等）を対象に、講習会をオンライン形式で行っています。

令和6年度オンライン講習会開催実績

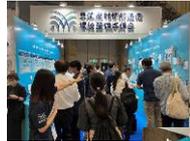
テーマ	開催日	参加者数
個別地区支援の流れと優良事例のご紹介	2024/7/22	45
地域の課題を知って自社ソリューションを効率的に提案！～「個別地区支援」のノウハウを農水省職員とサポート経験者が紹介～	2025/1/29	45

■ 準備会活動内容のご紹介③ <普及・啓発（展示会出展）>

- 令和6年度、準備会としてはじめて展示会（CEATEC 2024、アグリビジネス創出フェア）にブース出展。準備会の活用をPRするとともに、会員企業の協力を得て農村地域で生じている課題及び課題解決のためのICT機器等の紹介、トークステージでの講演等を実施。
- 来場者の関心は非常に高く、様々な分野の企業等の準備会への入会に寄与。

(1) CEATEC 2024 (R6.10.15~18、幕張メッセ)

- ・ CEATECは、経済発展と社会課題の解決を両立する「Society 5.0」の実現を目指し、あらゆる産業・業種の人と技術・情報が集い、「共創」によって未来を描くデジタルイノベーションの総合展。
- ・ 地域課題に対応したソリューションを持つ企業等へのPRを目的に準備会として初出展。
- ・ 出展ブースは、動線の左右に「準備会紹介ゾーン」と「製品紹介ゾーン」を設け、デジタルディスプレイ、タブレット、チラシ等により、準備会活動の紹介のほか、サポート会員企業協力の下実物のICT機器の展示も行い、農村地域における具体的な整備事例等を紹介。
- ・ 来場者の関心は非常に高く、出展ブースや講演への多数の来客のほか、展示会終了後も様々な分野の企業からの問い合わせや、意見交換の要請、入会希望等があった。



来客の様子



出展ブース外観

【主な成果】

チラシ配布数 : 1,540枚
 ヒアリングシート獲得数 : 310枚
 展示会出展後入会数 : 31社
 (R7.3時点)



トークステージでの講演

(2) アグリビジネス創出フェア (R6.11.26~28、東京ビッグサイト)

- ・ アグリビジネス創出フェアは、全国の産学官の機関が有する、農林水産・食品分野などの最新の研究成果を展示やプレゼンテーションなどで分かりやすく紹介し、研究機関同士や研究機関と事業者との連携を促す場として開催する技術交流展示会。
- ・ スマート農業等のソリューションを有する団体等へのPRを目的に準備会として初出展。
- ・ 出展ブースは、パネル、デジタルディスプレイ、タブレット、チラシ等により準備会サポート活動や地域の取組事例等の紹介を中心に行いつつ、サポート会員企業協力の下、ICT機器等のパンフレットを多数展示。
- ・ 大学・研究機関、民間企業等を中心とした来場があり、活動の認知・理解を深めた。



出展ブース外観



来客の様子

■ 準備会活動内容のご紹介④ <個別地区支援>

- 地域課題を抱えており事業化を検討しているユーザー会員に対し、ソリューションを持つサポート会員で編成されたチーム（とりまとめ役：1者、サポート役：平均8社、必要に応じ都道府県、地方農政局、地方総合通信局等も参加）により、現地視察等を行いつつ、ソリューションの提案等のサポートを行い、事業化のための概略構想を策定します。
- 令和6年度は約10の個別地区を支援しました。

活動の流れ

① 個別支援地区の募集、説明会の開催、サポートチーム編成

年に1回、地域課題を抱えており事業化を検討している地区を募集しています。

<令和6年度実績>

募集期間：5/20~6/21 応募条件：準備会への入会（ユーザー会員）

応募数：約10地区

募集締め切り後、オンライン説明会を開催し、応募地区は地区概要や抱えている地域課題について、サポート会員向けに説明いただきます。

説明会開催後、自社の技術で地域課題の解決ができるサポート会員等に対し、サポートチーム参加の募集（とりまとめ役1社、サポート役複数社（令和6年度平均8社））を行い、応募のあったサポート会員でサポートチームを編成し支援を行います。

② 現地調査、打合せ

サポートチーム編成後、地域課題の解決策の検討のため、実際現地で確認等を行います。その後、現地打合せやオンライン打合せ等を経て、各サポートチームメンバーが課題の解決策の検討を行います。



現地調査の様子

③ 技術提案

各サポートチームメンバーから検討結果を踏まえた地域課題への対応策の技術的な提案を行います。

④ 概略構想とりまとめ

サポートチームとりまとめ役が、各社提案をとりまとめ、概略構想を策定します。



現地打合せの様子

上記①~④を原則1年度内に行います。

応募団体 南さつま市（鹿児島県南さつま市）

LPWA Wi-Fi BWA その他

現状と課題

- 加世田小流域は早期水灌の種地であるが、高齢化や抱い手の集積・集約化が進んでいる。水灌の管理には多大な時間を要しており、省力化が急務であった。
- 農業用水である小湊ため池は、繁忙期には10日ほどで満水するため定期的に現地に赴く必要がある。しかし、管理が特定の地域住民に個人化しているため、ICT技術を活用した省力化を求める声があがっていた。
- イオンシによる作物被害が多いため、ICT技術を活用して被害を低減したい。

取組概要

- 見回り回数や管理時間の削減が可能な水田の水管理システムおよびため池の遠隔監視システムを検討した。鳥獣害では捕獲検知や感測装置による誘い込みなど既設設備との組み合わせICTの仕組みを検討した。
- BWAやLPWAによる簡易的な電波シミュレーションと基地局の置局設計を行った。

水田	小湊ため池	獣害対策
水位状況の遠隔監視、自動給水栓の遠隔操作によって、水灌時に要する時間や巡回回数を削減したい。	定期的な巡回が必要のため、水位だけでなくため池全体の水位変動を監視できるシステムを検討したい。	鳥の動作検知や遠隔操作によって作動状況の確認をしたい。防犯や監視等を組み合わせて、被害を低減したい。

通信インフラの構想案

- 電波到達エリアの簡易的な電波シミュレーションによる確認と基地局の置局設計を支援した。
- 取組内容や現場条件等を踏まえ通信規格の提案、他地区の同様の事例の紹介・具体的な対応策を提案。
- 今後、現場での試験検証・試行調査などを通じて、利用技術の選定を検討する予定である。

【具体的な検討内容】

1. 水灌時の省力化
2. 小湊ため池の遠隔監視
3. イオンシ被害の防止
4. 通信網整備方法

応募団体からのコメント

- 構想案を作成していただきましたサポートメンバーの皆様には厚く御礼申し上げます。中山間地で特に林道経由で入る小湊池付近は通信環境が脆弱でしたが、情報通信環境整備により水田の水管理、ため池監視、獣害対策等が遠隔化され省力化が図れることがわかりました。また合意形成を図っている段階ではありますが構想案を基に地域で話し合いを進めていきたいと思っております。

サポートメンバー インターネットイニシアティブ/NTTコミュニケーションズ/NTCコンサルタンツ/日本電子/ナノクボタ/地産地消推進/NVCケンウッド/地産地消推進協議会/及び九州

※上記内容（本構想案）は、農業者村市協議会現況整備推進体事務局がサポートの一環として調査・作成したものであり、実際に実施されることと確定しているわけではありません。

概略構想（概要版）の例